



## 抗体医薬品専用の糖鎖分析キットを新発売 — 培養液から糖鎖サンプルの調製まで2時間で完了 —

住友ベークライト株式会社（代表取締役社長：林 茂、東京都品川区）は、このほど抗体医薬品の糖鎖分析を簡便かつ安全に、大幅な時間短縮を実現した「EZGlyco™ mAb-N Kit with 2-AB」を開発し、2016年4月1日より国内販売を、さらに近日中に米国、欧州、中国はじめ海外でも販売を開始します。

### ■抗体医薬品の糖鎖分析の現状と課題

抗体医薬品の多くは細胞培養法（CHO 細胞など）により生産されています。抗体は培養液中に含まれますが、培養液には夾雑物（抗体以外のタンパク質、培地由来の物質など）が多く含まれており、抗体の糖鎖分析を行うためには以下の作業が必要になります

①培養液からの抗体精製 ②抗体からの糖鎖を切り出す ③糖鎖精製 ④糖鎖ラベル化

上記のような複数の工程を経て糖鎖分析が可能となります。しかしながら現状はこれら①～④の工程を単独で行うことが多く、それぞれ数時間～1日程度の時間がかかるため、トータルで1～2日程度の時間を要し、迅速化・簡便化が求められています。

### ■新製品 EZGlyco™ mAb-N Kit with 2-AB について



今回発売する新製品「EZGlyco™ mAb-N Kit with 2-AB」は、抗体医薬品の糖鎖分析を簡便・迅速に行うためのキットです。同梱されるプロトコル（操作手順書）に従うことで、培養液からの抗体精製、糖鎖の切り出し、ラベル化までの操作を一つのチューブ内で簡便かつ迅速に行うことが可能になり、その結果、分析用糖鎖サンプルの調製を約2時間で完了することができます。従来は1～2日かかっていた時間と煩雑な操作を大幅に短縮するとともに、必要な試薬を全てキットに同梱することによって操作性の向上も図られています。また、従来のラベル化工程では毒性のある試薬を使用する必要がありましたが、本キットでは毒性物質を使うことなく操作が可能で、安全性も向上しています。

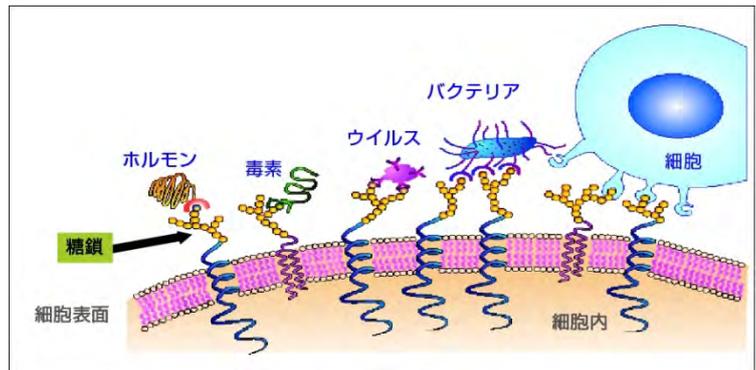
本キットの開発にあたっては、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合（MAB 組合）を通じた関係者との相互交流により、革新的な製品化を実現することができました。現在、MAB 組合と連携して更なるハイスループット化と自動化への対応が可能となる製品の開発を進めております。

抗体の糖鎖分析キット「EZGlyco™ mAb-N Kit with 2-AB」を用いることで、抗体医薬品の糖鎖分析がより簡便に短時間で可能になり、抗体医薬品の迅速かつ効率的な開発・製造に寄与することが期待されます。

【関連資料は次ページに添付いたします】

■糖鎖とは

糖鎖は私たちの体を構成する重要な生体高分子の一つであり、以前から糖鎖と疾患との関係が積極的に研究されています。生体内のタンパク質の多くには糖鎖が結合しており、糖鎖によってタンパク質の性質や機能が制御されていることが知られています。

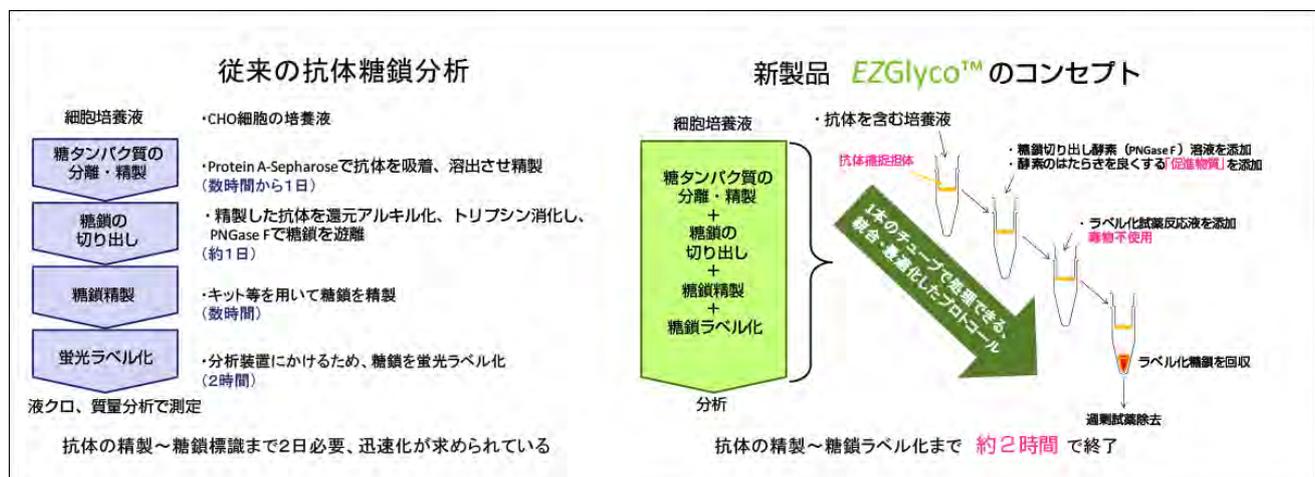


■抗体医薬品の糖鎖

近年活発に開発が行われている抗体医薬品では、抗体（タンパク質）に結合した糖鎖が医薬品としての薬効や安定性に関与することが知られています。そのため、抗体医薬の糖鎖分析は研究・開発から製造・品質管理に至るまで、様々なステージで幅広く必要とされます。また、抗体医薬などの後続品であるバイオシミラーの開発においても、先行品との糖鎖の比較試験が品質管理項目の一つになっています。

■新製品 EZGlyco™ の特長

- 培養液からの抗体精製工程を含め、2時間で糖鎖サンプル調製が完了（従来は2日間かかっていた）
- 既存の蛍光ラベル（2-AB）を使用、ラベル体変更にもなう検討不要（他社品ではラベルの種類が変わる）
- 蛍光ラベル化工程では非毒性の還元剤を使用（従来法では毒性の試薬を使用）



2016年4月1日 国内販売開始予定

品名：EZGlyco™ mAb-N Kit with 2-AB 品番：BS-X4410

参考価格：85,000円（税抜） ※10サンプル分

この製品についてのお問合せ先：



住友ベークライト株式会社 S-バイオ事業部マーケティング・営業部 島岡

Tel：03-5462-4831 E-mail：[s-bio@sumibe.co.jp](mailto:s-bio@sumibe.co.jp)